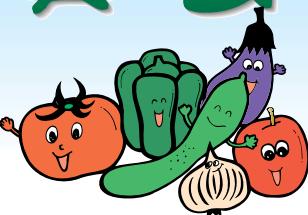


農業委員会 だより



第2号

平成19年9月1日発行

豊田市農業委員会

豊田市西町3-60

(豊田市役所 農政課内)

TEL 0565-34-6639



集

落営農の設立総会（千足地区）

2



私

自慢のキュウリハウスです。

3



農

業経営士として稻武でがんばっています！

4



農

事組合法人若竹の精鋭たち。

4

TOPICS

- 豊田市鳥獣害対策アクションプラン
が策定されました 1
- 県内初の集落営農組織 2
- キュウリひとすじ
新規就農者インタビュー 3
- 地域と共生する農事組合法人若竹 4
- 中山間地の農業を守る為に 5
- 山間地農業と私の趣味 5
- コラム 中山間地の農業 vol.2



ハ

チ採り名人

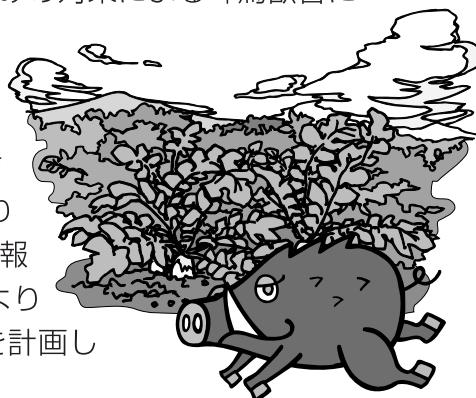
5

豊田市鳥獣害対策

アクションプラン

が策定されました

昨今、中山間地域を中心に農作物に対する鳥獣害（特にイノシシ）が増加し、被害区域も年々拡大しております。鳥獣害は農家の営農意欲を低下させ、耕作放棄地の拡大にもつながります。そこで豊田市では農作物鳥獣害対策連絡協議会を立ち上げ、関係機関の連携による総合的・計画的な被害防止対策を推進するため、地域ぐるみの対策による「鳥獣害に強い集落」を目指した、豊田市鳥獣害対策アクションプランを策定しました。



このアクションプランでは、これまで主に個々の農家を対象としていた防除柵等の補助事業を地域ぐるみで取り組むよう見直すとともに、農家への情報提供と地域リーダー等の人材育成により地域で鳥獣害に取組める体制づくりを計画しています。

主な事業

① 情報化事業

- ・被害状況調査…詳細な被害状況の把握
 - ・「(仮) 豊田いのしし通信」
 - …農家への情報の提供
 - ・地域学習会の開催を支援
 - …地域ぐるみの対策の促進

③ 環境管理・被害防除・捕獲支援事業

- ・防除柵の設置支援（防除）
 - …地域ぐるみの取り組みを積極的に支援
 - ・捕獲檻の設置支援（捕獲）
 - …集中的な配備により効果的な捕獲を支援
 - ・捕獲委託（捕獲）
 - …地域と一緒にした取り組みを実施

② 人材育成事業

- ・鳥獣害対策相談員の設置（JA、県、市）
 - …農家からの相談への対応
 - ・鳥獣害対策アドバイザーの育成（獣友会）
 - …地域と連携した駆除の実施
 - ・地域リーダーの育成
 - …地域での鳥獣害対策の推進
 - ・捕獲の担い手育成（農事組合等）
 - …地域での狩猟免許者の育成
 - ・研修会の開催
 - …相談員、地域リーダー等の育成

④ モデル事業

- ・地域ぐるみの総合事業…地域学習会、地域ぐるみの防除柵設置など総合的な取り組みを行うモデルは場の設置

5 捕獲物利活用事業

- ・事業費の補助…捕獲物を有効利用するための施設整備を行う組織団体を支援

12	11	11	10	9
25	27	20	24	29
市長との意見交換会開催	現地調査実施	農業委員会総会・農地部会開催	農業委員会総会・農地部会開催	農業委員会総会・農地部会開催
農業基本計画をふまえた幅広い農業政策について講演いただき、農業委員会からの質疑応答 意見の交換をおこないました	農業委員会視察 あわら市農業委員会	農業委員会総会・農地部会開催	農業委員会総会・農地部会開催	農業委員会総会・農地部会開催

平成18年

農業委員会だより創刊

農業委員会一年のあゆみ

品目横断的経営安定対策に対応した

県内初の集落営農組織

千足集落営農生産組合



集落営農設立にあたつて



千足集落営農生産組合長
鈴木 勲

近年農業を取巻く環境は厳しく稻作農家は米の消費が伸びず畜産農家は外国からの飼料が高騰して農業経営はますます厳しくなっています。

当地千足地区は稻作が主で一戸当たり平均して七反歩程の兼業農家であります。米麦の販売では農機具や諸々の諸経費が賄かなえず農業以外の収入で穴埋をしている状況であります。後継者問題もありこのままでは荒地・放棄地になりかねない・自分達の土地は自分で守りたいと言う考え方から農事組

合で論議を重ね、国の政策に従つて集落営農に向けて前向きに進もうと言う結論に達して準備委員会を設けました。準備委員の中には事務的に明るい人、経営手腕のある人、機械に明るい人等々があり、各自の長所を生かして関係機関への連絡や手続き組合員の理解と協力を呼びかけ経営安定対策に基づく二〇町歩の面積が集積出来ました。そして、平成18年9月9日に千足集落営農生産組合が千足町と西新町区域三十一戸で発足しました。

集落営農設立と同時に地域全体で農

地・水・環境対策にも取組んでいます。

集落営農ではエコ農業・安全な食糧環境にやさしい農業をめざして鶏糞を主体に化

学肥料や農薬は通常の半分以下におさえて稻作を進めています。



集落営農とは…？

集落営農の組織化とその法人化

今、集落営農は政策的な支援の対象となり注目されています。農水省は、平成15年9月に施行された農業経営基盤強化促進法の改正において、法人格をもたない任意組織としての集落営農組織のうち、経営主体として実体を有するもの（特定農業団体）について、同法上の農地の利用集積（農作業の受託）を行う担い手として位置づけることができるようになりました。「特定農業団体」は、5年以内に農業生産法人になることが要件の一つとされており、その法人化の推進、支援が行われます。そして、「特定農業団体」が法人化した場合、簡素な手続き（届出）で「特定農業法人」になれます。「特定農業法人」になることで制度上大きなメリットもあります。

組織化・法人化までの大まかなステップ

1 Step 集落のリーダー等の選出と方針の策定

2 Step 集落ぐるみの話し合いと合意形成

3 Step 集落営農の組織化

集落で土地利用についての合意がなされることにより、農地が面的にまとまって利用でき、耕作放棄地の発生防止につながり、一戸一戸では後継者が確保できなくても地域全体として担い手が確保できることが期待されます。

問い合わせ

豊田市農政課 (0565) 34-6639

新規就農者 Interview インタビュー

平成十八年三月に農業委員会の新規就農審査会で承認をうけ、
新規就農されたキュウリ農家の鈴木雅信さんにお話を伺いました。

キュウリひとつじ

鈴木さんは、三年ほど前からお父さん（川村俊春さん）の後を継いで農業に携わるようになりました。大学時代に熱中したラグビーのトレーニングとして、市場での早朝アルバイトをするうちに農業に興味を持つようになつたそうです。それまでは転勤が多かった鈴木さんですが、農家になつたことで、家族との触れ合いの時間が増えました。

現在、5000m²のハウスで主にキュウリの作付けをしておられます。農業のやりがいとしては、「毎回違うものができるのが面白いです。」とのことです。また、「いかに市場が品薄の時期にたくさん出荷できるか」という経営的な面白さもある」と、目を輝かせて楽しそうに話されていました。実際に農業に携わって、なかなかうまくいかなくて難しいものの、その分やりがいはあると感じられているそうです。就農一、二年目はお父さんに言われるままに作業するという感じでし



たが、今はある程度自分で試行錯誤しながら毎日の農作業に汗を流す日々です。今後の営農計画としては、現在の規模を維持しながら日々の努力によって生産効率を高めつつ、作物の質の向上を目指していくことをとした。栽培作物についても、あくまでキュウリにこだわって勝負していくそうです。

インタビューの最後に、鈴木さんのように、これから新規就農を希望されている方々へメッセージをお願いしたところ、

「農業は好きじゃないと出来ない。」といつもセイジをいただきました。逆に言えば、農業が好きな方であればどんな困難も乗り越えられるということだと思います。お父さんからも、「息子は立派な後継者。失敗も糧にして頑張ってほしい。」と励ましを受けた鈴木さん。これからも、豊田市前林町の元気な農家の一人として頑張ってください！」

(取材事務局
志村)

農地を借りる・買うには…



農地法第3条の手続きが必要です

主な許可基準（農地法第3条第2項）…以下に該当する場合は許可できません
(2号) 不耕作目的での取得の制限

権利を取得しようとする者又はその世帯員が農業に供すべき農地等のすべてについて耕作すると認められない場合

(4号) 常時從事しない場合の取得制限

権利を取得しようとする者又はその世帯員が農業に必要な農作業に常時従事すると認められない場合

(5号) 下限面積制限

権利取得後に農業に供すべき農地等の面積が、基準（※1）未満である場合

※1 旧豊田市（農業振興地域内）	10アール
旭・稲武地区	20アール
藤岡・小原・足助地区	30アール
旧豊田市（農業振興地域外）、下山地区	40アール

(8号) 効率的利用をしない場合の取得制限

権利を取得しようとする者又はその世帯員の農業経営の状況、住所地から取得しようとする農地までの距離等から見て、その土地を効率的に利用すると認められない場合

申請の際には事前に農業委員会窓口でご相談ください

その他

○ 利用権設定の手続きで期間を限定した賃借・使用貸借を結ぶことができます

○ 農家でない方が家庭菜園を楽しむために豊田市では市民農園を開設しています

○ 農地を農地以外に転用・売買するためには農地法第4条、5条の手続きが必要です

問い合わせ

豊田市農業委員会事務局 (0565) 34-6639

農業技術を習得したい方のために、

豊田市では

「農ライフ創生センター」

があります。

気軽に野菜作りを樂しみたい人のための

「旬の野菜づくりコース」

- 春夏野菜科・秋冬野菜科
- 育てて食する下山体験コース

農家になりたい人のための

「扱い手づくりコース」

- 畑科
- 地産地消科
- 田畠科
- 山間営農科
- 果樹科

問い合わせ

農ライフ創生センター
(0565) 43-0340

地域と共に生きる農事組合法人 若竹



ての現在、利用権設定面積約250ha、内、水稻130ha、小麦150ha、大豆50haを耕作し、それを構成員と従業員合わせて12名（平均年齢37歳）と女性数名で経営しています。高岡地区で荒れた農地や何らかの問題で作れない農地は2つの法人と担い手の農家で美田として守られています。しかし、最近はこの美田を工業の物流センターなどが立地し農地が変化しています。

豊田市では工業優先も大切なことだと思いますが、忘れてほしくないことは例えば農地は雨が降れば田がブール代わりになり自然環境を守る役目をもしているということです。

さらに、問題が以前と比べ多様化しています。農政では農産物の自由化、価格の下落、国内の食料の自給率の低さ、環境面では道路わきに捨てられるゴミ、作業の騒音、ガードレール設置などの問題で作業が難しくなっています。今後はこれらの問題を若いエネルギーで解決してくれると思います。【地域と共生】を忘れずに頑張ります。

（高岡地区農業委員 窪田清一）

工事のため整備後は赤土の中での稲つくりで、田植機も使えず一日何十人耕作出来ない土地を代わりに耕作する代行屋的存在でした。

当時の土地改良は作土を確保しない

り農業情勢も様変わりし

地区別利用集積状況 (平成19年4月1日現在)

地区	面積(ha)
豊田	135.1
上郷	320.7
高岡	639.9
猿投	127.1
松平	3.2
藤岡	20.6
小原	18.4
足助	31.9
下山	69.4
旭	27.9
稻武	18.3

※法人や個人農家に利用権設定により集積された面積

中山間地の農業を守る為に



稻武地区農業経営士
川角 宇生

農業、農地を守る対策として位置づけられる集落営農への取り組み等は新聞にも紹介されています。今日置かれている中山間地の農業の厳しい現実の中で、

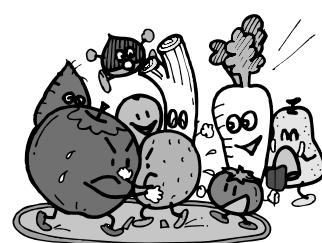
豊田市内の農業経営士・認定農業者(認定数) (平成19年6月末現在)

地区	農業経営士	認定農業者
豊田	11	16
上郷	12	37
高岡	10	18
猿投	13	43
松平	2	3
藤岡	1	4
小原	4	5
足助	3	6
下山	3	15
旭	0	1
稻武	4	2
その他	0	1
合計	63	151

私の事業は、ミネアサヒを中心とする玄米の販売と、ミニライスセンターの経営です。仕事柄旧稻武地区の農業事情はある程度把握しているつもりです。今、国策では、農業を守る担い手の育成に力を注いでいます。私もその対象となる認定農業者の一人ですが、担い手として認定されるには、一定の面積を耕作する事が義務づけられており、

その為には農地の集積が必要になります。当地では圃場整備はされています。が、あいにく、一区画の面積が小さく水張面に対し畦畔が大きのが最大のネックとなります。豊田市の農業基本計画のなかで、

耕作放棄地の全く無いのが理想の姿だと思いますが、全ての農地を耕作し続ける事は不可能であり、活用すべき土地との線引きは、やむを得ないものだと思います。そういった中山間地の農地を守るという目的に限って言えば、豊田市の政策に添った集落ごとの営農組織ができればそれも良いと思うし、一定の条件が満たされればその人や農地への助成対策がしっかりとられるこそ、耕作放棄に歯止めを掛ける最善の策だと私は思います。



山間地農業と私の趣味

足助地区農業委員 川合 延昌

第2号

農業委員会だより

私は人生の節目の定年期まで、若い頃から山村農業を休むことなく続けてきました。

近頃、我が家から見渡す景色も昔とはずいぶん変わりました。それは、農家の高齢化が進み耕作できない土地が増えたからです。

加えて、近年では水のきれいな沢から引かれる水田も、おいしい米の収穫できる棚田も猪の被害によりずいぶん姿が変わりました。

私の田んぼは川の水の落差を利用して自己型水力発電の電柵で猪を防いでいます。毎日の水管理も大変ですが、電柵内で稻を守つて耕作しています。

いつか、山里水田で猪の心配をせず耕作できるよう戻ることを願うばかりです。

さて、今回は私の趣味について少し紹介します。前段で書いたとおり、私は山間高地に生まれつき、季節と共に変化する身近な自然をよく見ております。田植え後一ヶ月過ぎる頃になると、山草刈をしながらヘボ（※1）の女王に出会うことが私の楽しみです。実際にヘボの女王に出会うとともに感動し、どこに巣を作るのだろうかと思ひを馳せます。しかし、今年は今のところ新蜂は見かけていません。例年なら時々は見かける頃なのですが、今年の蜂はどこにいるのでしょうか。地球温暖化の影響があるのでしょうか、とても気になります。



ヘボの巣

我が家の前にあるオオバカエデの木には、六月になるとオスズメバチの女王がたくさん来るのでですが、今年は今のところまだ見かけていません。とても気になり、蜂仲間に聞いたところ、やはり「今年は見ない」「少ない」という声がかえってきます。八月中旬頃ともなると、ヘボ探しが私の楽しみの一つなのに…。巣を見失しまく、とても残念な一年となってしまいます。これから、秋の稻の収穫が出来る頃まで、蜂の行動に気を配りながら、山里の山間地農業を営んでいきたいと思っています。山間地農業は自然や動物との共生が悩みでもあり、反面、贅沢なことかも…？



中山間地の農業

vol.2

中山間地の稻作は一口に表現すると畠草との戦い。広く大きい斜面、春から秋にかけて、ごく当然のように時間があれば草刈り。それでも、山野草に少し思ひのある私は春先のカタクリに始まり、ササユリ、一葉草、そしてカキラン、春から夏にかけて毎年この時期このあたりに神経を集中させて草刈りをします。一年に一度の出会い。花を見つけると樂しこと愛しさがあれば、自然界にあって彼らは生きながら今に至るもの。自分の手元にという物欲が山野草の激しいながら草刈りをしていました。彼等を見つけた時は来年もまた元気に会える事を楽しみにそつとして置いて下さい。

下山地区農業委員

中根 清茂



編集後記

地区別の遊休農地面積

地区	面積(ha)
豊田	6.5
上郷	1.5
高岡	1.4
猿投	89.2
松平	6.9
藤岡	20.6
小原	8.1
足助	20.0
下山	12.8
旭	47.0
稻武	10.6

国の「食料・農業・農村基本計画」の発表を受け、愛知県では平成17年に「食と緑の基本計画」が公表されました。豊田市においても、この度「第二次農業基本計画」の策定に入り、今年度中にばくされると予定です。

このよき時期に、各地で農業に意欲を

持つて取り組んでおられるみなさまを紹介させていただきました。このたまが農業振興に少しでも役立たせていただけ

ことができれば幸いです。御意見や御寄

稿をお待ちしております。(編集長 原田)

農地パトロール実施結果

平成18年度豊田市農業委員会

